

## 新しい形容詞

堀尾, 佳以  
九州大学大学院比較社会文化学府

<https://doi.org/10.15017/4494667>

---

出版情報 : 比較社会文化研究. 22, pp.87-99, 2007-09-01. 九州大学大学院比較社会文化研究科  
バージョン :  
権利関係 :

## 新しい形容詞

ホリ オ ケ イ  
堀 尾 佳 以

### はじめに

言葉は世代によって、また時代によっても移り変わるものである。

本論文では、現在の若者が使用している「新しい形容詞」と考えられるものについて詳しく分析を行い、その特徴を捉えることを目的とする。形容詞に、どのような変化が起こり、「新しい形容詞」が生まれたのか、その原因を究明するとともに実際の自然談話録音資料の収集・分析を行い、その実態を明らかにしたい。

形容詞の中でも「な形容詞<sup>1)</sup>」であるはずのものが「い形容詞」と同じ活用をしているものがある。これらは日本語教育の現場でも学習者がよく間違えるものであるが、現在若者の間で使用されている「新しい形容詞」を見ると、日本人までもが、「い形容詞」と「な形容詞」が同じ活用をしているものがある。その他にも、新しい語彙や造語など、「新しい形容詞」があるようだ。

まず、実際のサンプルを収集し、分析を行い、「新しい形容詞」が持つ特徴をまとめる。最終的には、「新しい形容詞」の特徴と性質を提示し、自然談話内で実際に発話された時にその発話の意味するもの、表現するものを正確につかむためには、どうすれば良いか考えていくこととする。

### 1. 形容詞とは

本章では、「形容詞」とはどのようなものか、形容詞に関する先行研究についてまとめ、「従来の形容詞」について定義する。

#### 1. 1 「形容詞」の定義

分析対象である「新しい形容詞」を浮き彫りにするために、「従来の形容詞」とは、どういうものなのかを示す。先行研究を参考に、「従来の形容詞」についてまとめる。

#### 「形容詞」とは

「単独で述部を形成できる判断詞」であり、物やことからの性質、状態などを表すとともに、話し手の主観的判断、感情などを表す。後に続く名詞または名詞句を修飾するほかに、単独で述語となったり、連用修飾をしたりすることができる。「形容詞」はあとに続く語や使い方によって活用し、その活用の違いから「い形容詞」と「な形容詞」に区別されるが、この二つの形容詞は統語的・意味的特徴を多く共有している。

#### 1. 2 「形容詞」について

ここでは1. 1で挙げた、「形容詞」に関連があると考えられる資料と「形容詞」についてまとめる。

##### 1. 2. 1 「形容詞」関連資料

『現代形容詞用法辞典』では、「日常の会話やテレビドラマなどに頻出し、慣れ親しんでいる俗語（『ヤバイ』『グサイ』『がめつい』『けったくそわるい』など）や使用者が多いと思われる方言的な語（『あほくさい』『かったるい』『ぼろい』など）も、記述できる範囲でできるだけとりあげるよう努めた。」としている。これは、本研究で取り上げる「形容詞の新用法」と関係があるものであり、作例を用いて説明されているが、作例では実態をつかめたとは言えない。

「さらに、他の語について形容詞を作る造語成分（『ーらしい』『ーがましい』『ーばい』『ーたらしい』など）も個別にとりあげた。これらは従来の学校文法において、接尾語扱いされたり助動詞扱いされたりして文法上の位置が定まっていなかったため、まとまった解説があまりほどこされなかった語群である。」と述べているが、これらも新しく語彙を増やしていく際に使われているものであり、先行研究として、これらの分析を参考にしたい。

『日本語使い方考え方辞典』の形容動詞において、白川は、「造語力の高さでは形容詞をしのぎ、日本語の語彙の拡大に貢献している。」と指摘している。これは、日本語では

1 いわゆる「形容動詞」だが、ここでは日本語教育の現場で使用されている「い形容詞」「な形容詞」を採用する。1. 2. 2で詳しく述べる。

ない外来語に「～だ」を付けることで、新しい形容動詞を作ることができる、という点を指摘しているのであろう。しかしこの造語法は、あくまで外来語を中心に考えており、日本語の既存の動詞・名詞など、他の品詞を形容詞・形容動詞にする場合のことについては触れられていない。そのことは、「いずれにしても、形容詞のほかに形容動詞という品詞があるおかげで、日本語はその文法体系を少しも損なうことなく簡単に外来の語彙を取り入れることができていることは確かである。」と述べていることからわかる。

本研究では、この「外来語を日本語に取り入れる場合の造語法」にこだわるのではなく、「日本語の他の品詞から造られる新しい形容詞・形容動詞」に関しても取り上げたい。

### 1. 2. 2 「い形容詞」と「な形容詞」

先行研究でもまとめたように、形容詞は2つに大別されている。「い形容詞」と「な形容詞」である。これは、これまでの文法の表現で言えば、「形容詞」と「形容動詞」とも言われていたものである。先に挙げた先行研究の中に、「形容動詞は、意味的には物事の性質や状態を表す点で形容詞に似ているが、文法的には活用の仕方が名詞によく似ている。いずれにしても、動詞には似ても似つかず、形容動詞という名前は『名は体を表す』になっていない恨みがあるので、形容詞との類似性をとらえて『ナ形容詞』と呼ばれることもある。<sup>2)</sup>とあるので、「形容詞」「形容動詞」と呼ぶよりも、現在、日本語教育の現場でも使用され定着している「い形容詞」「な形容詞」を採用する。

また、本研究の分析の際、従来の形容詞の基本的な活用と比較する必要があるため、「い形容詞」と「な形容詞」の基本的活用を表にしてまとめておく。

表1 「い形容詞」と「な形容詞」の基本的活用

形容詞	名詞接続	否定形
い形容詞	〇〇い→〇〇い+名詞	〇〇い→〇〇くない
な形容詞	〇〇だ→〇〇な+名詞	〇〇だ→〇〇じゃない

### 1. 2. 3 「い形容詞」と「な形容詞」の違い

「い形容詞」と「な形容詞」は、「それぞれ活用のしかたは異なっているが、文中での役割などはほとんど同じである<sup>3)</sup>と先行研究にもあるように、基本的な役割は同じである。基本的な役割が同じであるとすると、「い形容詞」と「な形容詞」の違いは、何なのであろうか。活用だけでなく、様々な面からの比較が必要となる。先行研究を参考に、それぞれが持っている特徴を比較すると、次のような「違い」が見受けられる。

表2 「い形容詞」と「な形容詞」の比較

	い形容詞	な形容詞
語源	和語	漢語、外来語 名詞からの転成が多い
造語性	乏しい	豊かである

「い形容詞」は、語源が大和言葉であるため、造語性に乏しく、単独で用いられる事は少ないが、それに対して「な形容詞」は漢語、外来語を語源とする語が多いため、造語性が豊かであり、造語法も簡単であるため、新しい形容詞を容易に造ることができる。また「な形容詞」は物事の状態や、話し手の判断を表すものが大半で、感情、願望、否定を表すものは少ない。名詞的要素が強く名詞にもなるため、活用の仕方も名詞とほぼ同じである。

### 1. 2. 4 「い形容詞」と「な形容詞」の曖昧な部分

「形容詞」(P. 11)では、「C 紛らわしいもの」として、次のようにまとめている。

#### 1. イ形容詞およびナ形容詞の両方の活用

暖かい 細かい 柔らかい ひ弱い 暖かな 細かな  
柔らかな ひ弱な

#### 2. イ形容詞でありながらナ形容詞の活用の一部(連体形のみ)を持つ

大きい 小さい おかしい 大きな 小さな おかしな  
しかし、「い形容詞」でありながら「な形容詞」の活用の一部(連体形のみ)を持つものは「な形容詞」ではなく連体詞であり、修飾機能のみもつものである。このように、両方の活用を持つように見えるため「い形容詞」か「な形容詞」か、はっきり区別することが難しく、これを「曖昧な部分」と呼ぶことにする。

このような「曖昧な活用」が本研究で解明しようとしている「新しい形容詞」に、何らかの影響を与えているのだろう。「な形容詞」が「い形容詞」の活用をする、西日本の形容詞活用と関連があると考えられる。

## 2. 「新しい形容詞」先行研究とその問題点

これまで、日本語学の中でも「若者言葉」とされる分野には先行研究が殆ど無かったが、近年、「若者言葉」を研究対象とした本や論文が発表されている。その中には形容詞の「新しい形容詞」と関係があると思われるものも含まれており、本研究にとっても重要な参考資料となる。本章では、これらの先行研究を挙げ、問題点を指摘するとともに、本研究で立証すべき点などを見出す。

2 岩波「日本語使い方考え方辞典」監修：北原保雄「形容動詞」白川博之

3 「形容詞」監修 名柄 迪 荒竹出版

ここでは主に、本研究の主題である、「新しい形容詞」に関する記述と、言語変化に見られる特徴などに関するものを取り上げ、問題点を指摘する。

## 2. 1 「新しい形容詞」先行研究

形容詞を新しく造る場合の造語法に関して、形容詞は「今もう新しい単語を生み出すことがなく、生産力を失った<sup>4)</sup>」と言われている。しかし、「既成のことばに古くささ、おもしろみのなさ、力のなさを感じ、規範を破る形で新語を造り、新鮮さ、奇抜さ、おもしろさ、強さを出<sup>5)</sup>して新しい形容詞を造っているのではないだろうか。

「日本語ウォッチング」に述べられていることについて、疑問点をあげる<sup>6)</sup>。

新しい形容詞の誕生といえば、「……のように」にあたる言い方が、形容詞と同じ活用をとろうとしている例がある。「みたい」「みたく」で、「バカみたい」「鳥みたく飛びたい」のように使われるようになった。

この「みたい」は最後がイで終わるので、「固い」「冷たい」などの形容詞とそっくりにひびく。形容詞なら「固く」「冷たく」というクの付く形がある。さらに、①「酒を飲みたい」「顔を見たい」などの助動詞タイとも形がそっくりで、「飲みたく(なる)」「見たく(ない)」などという活用形にならって、「……みたく」が生まれたと考えられる。

(略)「みたく」も形容詞のようにふるまっていることをみた。前にふれたように、形容詞は現代語では生産力を失って、新たなことばを生み出すことがないように見えても、活用体系を保って、他の語もまきこむ力はまだもっているわけである。(P. 75)

(「うざい」について) 流行語とは違う。少しずつ広がっており、②長期的な言語変化の反映として扱うことができる。

現在の日本語はさらに大きな変化、国際化に見舞われている。③具体的に目立つのは英語の影響であり、雨傘のたとえを拡大すると、上から降る雨に相当する。

①助動詞「タイ」、つまり「飲みたい」「見たい」とは活用の仕方が似ているが、「…みたく」を付加して造る「新しい形容詞」とは異なる。この「…みたく」は派生形式であり、形容詞の活用にならったのではないだろうか。

②「うざい」は語源が方言であり、その方言が時間をかけて広がって、東京に流入し、全国へ広がった、という経緯があるため、「長期的な言語変化」だが、同じような活用を

するものが増えていることから、この「い形容詞」の活用への統一化は定着するのではないだろうか。

③「新しい形容詞」の造語にも関連することであるが、英語から新しい単語を作る場合、「な形容詞」を造り、それから「い形容詞」へと活用が統合されているようだ<sup>8)</sup>。

次に、「口のきき方<sup>9)</sup>」でも「新しい形容詞」と関連したものがある。

「やばい」の本来の意味は、「不都合である、危険である」で、たとえば「④-1 明日までに資料の作成が終わらなくて、やばい」というように使います。

「この服よくない？」④-2「やっぱーい。超カワイイ」などと使います。

④ここに挙げられている例文は、日本語としておかしいものである。

④-1「明日までに資料の作成が終わらなくて、やばい」  
→「明日までの資料作成が(まだ)終わらなくて、やばい」

④-2「この服よくない?」「やっぱーい。超カワイイ」  
→「この服よくない?」「あ、すごーい。超カワイイ」

新しい形容詞の例として挙げられている。しかしこの例文は、実際のものとは異なる使い方、著者の作例であると考えられる。実際の使用例をコンテキストとともに挙げる。

## 2. 2 「新しい形容詞」先行研究の問題点

先行研究では、

①作例を使用して分析が行われている。

また、例が少な過ぎるため、そのルールが一般的かどうか判断できない。

②外来語のみを分析対象としているものがあり、全般的な分析が行われていない。

③従来の形容詞と区別されていない。

以上、三点が問題点として挙げられる。本研究で明らかにしたい。

## 3. 「新しい形容詞」について

現在、若者の間で使われている言葉や、マスメディアで聞かれる言葉の中で、形容詞の活用が「従来の形容詞」とは異なると考えられるものが見受けられる。

4 「日本語ウォッチング」 井上史雄 岩波新書 1998年

5 「現代若者ことば考」 米川明彦 丸善ライブラリー 1998年

6 ○囲み数字、および下線は筆者

7 「うざったい」が短縮したもの

8 4. 2. 1で詳しく述べる。

9 梶原しげる(2003). 「口のきき方」. 新潮社

ここで収集・分析するものが本当に「新しい形容詞」なのか<sup>10</sup>、単なる「用法の派生」であるのかは、分析を行って結論を出すこととする。「従来の形容詞」の活用から見れば、「誤用」と思われるものが多数使用され、定着しつつあるという現状を認識し、この変化を論理的に証明することが本研究の目的の一つである。

### 3.1 「新しい形容詞」の仮定義

現在使用されている形容詞の中で、「従来の形容詞」とは異なる形容詞の用法があり、これを「新しい形容詞」とする。「新しい形容詞」と考えられるものには次の特徴がある。

- ・「従来の形容詞」の活用を行わず、既存のルールに従わない活用を行う。
- ・「従来の形容詞」の活用を行うが、「従来の形容詞」の意味とは異なる意味を持つ。
- ・外来語などから「新しい形容詞」を造る際、従来の造り方と用法が異なる

以上の特徴をまとめ、「新しい形容詞」の仮定義を行う。

#### 「新しい形容詞」の仮定義

「従来の形容詞」とは異なり、既存のルールに従わない活用を行うものや、従来と同じ活用を行ったにもかかわらず、その意味するものが異なるもの、「形容詞」の造語法が異なるものを「新しい形容詞」とする。

この仮定義を参考に、実際に考えられる「新しい形容詞」について考察する。

### 3.2 「新しい形容詞」の分析資料について

「新しい形容詞」について仮の定義をしたが、実際の使用例とその傾向を捉えなければならない。現在、この定義に当てはまるものは、どのようなものであろうか。自然談話録音資料を分析する際、2002年・2004年・2006年に収集した若者の会話録音資料を使用し、コンテキストもふまえて分析する。

また、分析を行う資料として、テレビ番組の中でも「自然談話」であると考えられるバラエティ番組、視聴者参加型番組で使用されているものも対象とする。これは、出演者が使う言葉はシナリオによって書かれたものではなく、自然に発話している、と考えられるからである。この理由により、前もって決められた台詞を使用しているドラマは、分析の対象外とする。

使用したコンテキストには、その話者の属性について、脚注に【性別・年齢・所属・出身地】などを明確に示す。

### 3.3 「新しい形容詞」の用例とその使用状況

「新しい形容詞」の用例については、自然談話録音資料、テレビ番組、若者ことばに関する辞書・辞典などから引用する。その際、用例のみを分析するのではなく、コンテキストも対象とする。「新しい形容詞」には、活用が既存の語と同じだが使用場面によって使用法が異なるものがあり、つまり語用論と関連があると、予想されるためである。

また、本研究で分析する「新しい形容詞」は主に若者によって使用される「若者言葉」と考えられる。「若者言葉」について先行研究をまとめると、以下のようなものである。

#### 「若者言葉」

若者語は日本の歴史・文化の産物であって、大人が築いてきた社会から生まれたことばであり、ただ単なる若い世代の遊びのことばではない。それは個人が自由を追い求め、さまざまな「規範」からの解放を求めてきた歴史の産物である。ことばの規範から自由に、悪く言えば勝手に新たな語を造りだし、新たな意味と用法で使っているのが若者語といえる。<sup>11</sup>

## 4. 「新しい形容詞」の分析

「新しい形容詞」について、言語学的分析の中でも、本研究では特に形態的特徴・統語的特徴・意味的特徴に焦点をあてる。

### 4.1 形態的・統語的特徴

言語学的な特徴を、それぞれを機能で分類し、細かく見ていく。

#### 4.1.1 省略

形容詞を省略する方法は大きく2つに分けられる。

##### ① 中略

元々ある語彙の中略をするものだが、ほとんどの語彙は5拍・6拍のものを3拍に短縮している。

㊦ ごこい きしよい きわい きもい はずい はんばい むさい むずい

##### ② 形容詞の複合語

一つ以上の形容詞を含み、何らかの省略をして造った形容詞を挙げる。

10 先行研究にも、「ちがかった」「ちがくなる」などの新しい形容詞とも共通性がみられる。」「(日本語ウォッチング)井上史雄P. 79~80)とあるように、これらの形容詞を「新しい形容詞」とする記述もある。

11 「現代若者ことば考」(1996)米川明彦(はじめにP. iii~iv)(第一章P. 16)

a. 省略(い) 省略(い) い 前項要素下部だけを省略  
これも二種類に分けられる。特に、人の様子を表す語彙  
に使われる。

a-1: 形容詞(並列) — 形容詞  
並列は、同等である形容詞を二つ並べ、一つの語彙にし  
たものである。

㊦ エモイ かっこかわいい キラメキレイ  
エロかわいい エロかっこいい

a-2: 形容詞(逆接) — 形容詞  
逆接に関しては後項部分に重点があり、二つの相反する  
要素を一つにまとめた語彙である。その二つの特徴を持つ  
ものを指す。

㊦ カッキモイ キモかわいい ださかっこいい  
ださかわいい

b. 省略(い) 省略(い) 各要素の下  
部を省略 2拍+2拍⇒4拍

二つの形容詞を組み合わせ、どちらも各要素の下部であ  
る「い」を省略したものである。前項要素2拍と後項要素  
2拍をあわせ、4拍で一単語としている。前項・後項どち  
らの要素も、元々の形容詞を省略し、使用している。また、  
従来の形容詞でも一つの形容詞のうち2拍を使用し、組み  
合わせている。

㊦ キショウザ キモウザ

c. 省略(い) + 名詞

形容詞と名詞を組み合わせで省略し、形容詞修飾した名  
詞を造っている。これは名詞を見るだけで、どんな名詞な  
のか判断できる。

㊦ キモヲタ ダサ男 だらしな系

d. 省略 + 省略 い 前項要素下部・後項要素  
上部を省略

他の省略に比べ、元の語彙の復元がやや困難である。

㊦ えもい=え(ろい)+(き)もい  
うぎもい=うぎ(い)+(き)もい  
しもい=死(ぬほど)+(き)もい  
かわっこいい=かわ(いい)+(か)っこいい

e. 三語以上の複合語

このルールに当てはまる語彙は少ないが、省略して造っ  
た一つの語彙で、様々な要素を含んでいることを示すこと  
ができる。

㊦ かちょもい:か(なり)+ちょ(う)+(き)もい  
「副詞+副詞+形容詞」  
もいもいさい:(お)もい+(き)もい+(く)さい  
「形容詞+形容詞+形容詞」

f. 副詞+形容詞

副詞の一部と後項形容詞の語幹が重なるものを利用した  
り、方言<sup>12</sup>を使用するなどして、語彙を増やしている。

㊦ ちょうざ チョッセー チョッパズ であうま  
テラキモ まじうざ かなきしょマスウザ 安かわ

#### 4. 1. 2 活用の変化

「新しい形容詞」の中でも一番大きな変化であると考え  
られるのが、「形容詞」の中でも「な形容詞」が「い形容詞」  
と同じ活用をするようになってきている、という現象であ  
る。このような変化と、その現状について述べる前に「い  
形容詞」と「な形容詞」についてまとめておく。

㊦ 好きじゃない⇒好きくない 派手⇒派手く  
ぶすじゃない⇒ぶすくない 変じゃない⇒へんくない  
静かだった⇒静かかった

表3 「い形容詞」「な形容詞」従来の活用との比較

		活用
い形容詞	否定	○○い→○○ <u>くない</u>
	過去	○○い→○○ <u>かった</u>
な形容詞	否定	○○だ→○ <u>じゃない</u>
	否定	㊦○○だ→○ <u>くない</u>
	過去	○○だ→○ <u>だった</u>
	過去	㊦○○だ→○ <u>かった</u>

[従来] 好きだ →好きじゃない

㊦好きだ →好きくない

[従来] 静かだ →静かだった

㊦静かだ →静かかった

「小さい」「小さな」といった語彙があるように、「い形  
容詞」が「な形容詞」の活用を使用することが可能である  
ならば、「な形容詞」が「い形容詞」の活用を使用すること  
も可能だ、と考え、「新しい形容詞(用法)」を生み出して  
いったのではないだろうか。

その活用から、「な形容詞」が「い形容詞」の活用を採用  
する、という流れが生まれ、現在も使用しているが、この  
変化は一部の「な形容詞」において定着しつつある。今後  
は「な形容詞」が「い形容詞」の活用法をとるようになる

12 2005年頃から共通語で新しい語彙を造るのではなく、各地の既存の方言が流行した。

のか、現時点では分からないが、これからも増えていくのではないか。

ただし、「な形容詞」が「い形容詞」の活用を使用する語彙は限られている。また、方言との関連も無視できない。西日本の一部地域では「ナ形容詞」も「イ形容詞」の活用を使用している語彙もあるため、全国的な調査の必要がある。

#### 4. 1. 3 「新しい形容詞」の活用

形容詞の活用では、「～ない」の形、つまり否定形を造る際の活用法に変化が見られるようである。本来ならば、「な形容詞」の場合、文法的には「～じゃない」という形になるべき所を、現在「～くない」のように、「い形容詞」の否定形の活用を応用していると考えられる語句が存在する。

例： ぶすくない、変くない

「新しい形容詞」では、否定形を作る際、「い形容詞」「な形容詞」とともに、「い形容詞」の活用によって「ない形」を造る。

しかし実際の例を見てみると、従来の文法では「非文法的」とされている、「な形容詞」を「い形容詞」の活用法で活用させる使用例が存在している。

㊦ F 1<sup>13</sup>: この服どう?

F 2<sup>14</sup>: うーん、ちょっと派手くない?

これは、「な形容詞」に「い形容詞」の「ない形」の作り方を適用していると考えられる。「い形容詞」と「な形容詞」の「ない形」活用は異なっているが、どちらかの活用を使用する場合があるようだ。

ただし、「な形容詞」に「い形容詞」の「ない形」の活用を適用できるものは限られているのであろう。「な形容詞」の中でも、「ハンサムだ」「ワイルドだ」などのように、外来語を形容詞にしたものには使用しにくいと考えられる。

#### 4. 1. 4 倒置

㊦ バイヤ まいうー

以前から業界用語や隠語では、倒置という方法が使用されていた。ここで挙げた例のうち、「まいうー」は出自がはっきりしているものである。2000年に始まったテレビ東京系の番組「debuya<sup>15</sup>」で、パパイヤ鈴木と石塚英彦<sup>16</sup>が使い始

めたものである。

2001年に実施したアンケートでは、「まいうー」に対して拒否反応もあったが、現在は定着し、若者の間でもしようされている。

「新しい形容詞」は、省略する形が多く、その省略によって元の語彙を変化させるため、更に倒置して変化する必要がないためか、倒置の例は少ない。

#### 4. 1. 5 外来語由来の形容詞

外来語を日本語に取り入れる場合、形容詞であれば「な形容詞」の活用をさせることが多かった。これが従来の方法である。

㊦ Now ナウ → ナウな<sup>17</sup> → ナウい<sup>18</sup>

外来語 → な形容詞化 → い形容詞化

しかし、従来の方法である「な形容詞」化する過程を省略し、直接「い形容詞」とするものが現れた。しかも、これらの語彙は「い形容詞」になる時、既に省略されているのである。

㊦ グロテスク → { 省略 } → グロい

外来語 → { 省略 } → い形容詞化

他に、マッチョ→「マチョい」、マニアック→「マニい」などがある。

#### 4. 1. 6 「い形容詞」と「な形容詞」の派生形式

「い形容詞」と「な形容詞」には、様々な派生形式がある。その派生形式によって品詞を変化させたり、同じ品詞だが意味を付け加えたりするものがある。これらの派生形式は、「い形容詞」と「な形容詞」から新たな語を派生させる、という働きがあるため、その派生形式やその派生方法について、「新しい形容詞」との関連が考えられる。それぞれの派生形式についてみていこう<sup>19</sup>。

##### 4. 1. 6. 1 ～過ぎる

「い形容詞」と「な形容詞」に「過ぎる」を付加することで、動詞を派生させるものである。程度の高いことを示す。 ㊦: 可愛過ぎ(る)

「～過ぎる」は「い形容詞」も「な形容詞」も同じように変化させて単語を派生させている。

13 【女・24・会社員・岡山】

14 【女・25・大学院・福岡】

15 2000年当時は深夜番組であった。2003年10月よりゴールデン(19:55~)に移り、現在は「元祖! でぶや」というタイトルで放送中。

16 「でぶや」出演タレント。若者ではない、パパイヤ鈴木(当時34歳)と石塚英彦(当時38歳)が考えた「まいうー」が流行語となり、現在でも使用されている。

17 辞典<新しい日本語>井上史雄ほか 東洋書林(2002) P. 163

1980年代全国に普及;ただし1990年代後半には古めかしいことばになった。

18 「ナウな」と同様、現在ではほとんど見られず、死語となっている。

19 ここではの先行研究「中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック」を参考にまとめることとする。全てを引用するわけではない。

「新しい形容詞」に「過ぎる」をつけ、さらに「る」を省略している。

㊦ やばすぎ(る) キモすぎ(る)<sup>20</sup>

4. 1. 6. 2 ～げ

「『～げ』はもっぱらイ形容詞とともに用いられ必ずそのような様子であるという意味を表します。また『楽しげ、苦しげ、悲しげ、懐かしげ』など感情を表すイ形容詞とともに使われる」と外観から状態を推察して述べる言い方になります。<sup>21</sup>」と先行研究にもあるように、「そのような様子である」という意味を持たせる事ができる「げ」は、意味を付け加えるだけでなく、文法的機能を持つ接尾辞である。「げ」を付加することで「な形容詞」を造ることができる。

例：退屈げ<sup>22</sup> 悲しげ さびしげ いわくありげ 心配げ  
 楽しげ 苦しげ 食べたげ 言いたげ 怪しげ  
 懐かしげ 心細げ 美しげ 読みたげ

「～げ」は「い形容詞」も「な形容詞」も同じように変化させて単語を派生させている。

表4 「～げ」派生の仕方の比較

	派生の仕方
従来	動詞(連用形) イ形容詞(語幹)+ げ → ナ形容詞 ナ形容詞(語幹)
新しい用法	イ形容詞(語幹)+げ→ナ形容詞 ナ形容詞(語幹)

㊦ 良さげ なさげ やばげ ひどげ おもしろげ  
 やわらかげ 遠げ

従来は「制約・機能」として、「『ナ形容詞』を造る接尾辞であり、全てのイ形容詞につくわけではない」というルールがあったが、客観的に使用される形容詞にも使用できるようになった。特に、「○○そう」の代わりに「○○げ」を使用する傾向が見られる。「○○そう」というのが話し手の主観・判断であったのに対し、「げ」は様子・有様を断言しており、よりはっきりと言いついてしまうようである。

4. 1. 6. 3 ～くさい

従来の「～くさい」は、「いかにもそのような様子である

という意味を表す。あまりよいと思われていないものに使われることが多い。よくない意味を表す形容詞に付き、その意味を強めるのに用い<sup>23</sup>」ていた。

「くさい」が「い形容詞」であるため、これを付加することで元の品詞を「い形容詞」に変え、派生語を造っている。

例：インチキくさい、インテリくさい、バタ臭い、古臭い、面倒くさい、けちくさい、ガスくさい、カビくさい

しかし、「ようだ・みたいだ・そう思うが確信が持てない」といった意味も含むようになったものがある。また、「よくない意味を表す語」に「～くさい」を付けてその意味を強めていたが、一般の名詞や動詞の過去形にも使用できるようになった。

㊦ 棺おけくさくない? → 棺おけみたいじゃない?

明日は無理くさい。

あそこにあつたくさい。

従来の用法とは異なり、ナ形容詞や動詞に派生形式を付けられるようになった。これは「新しい用法」と言える。特に、動詞の過去(タ形)にそのまま付く形式は少なく、めずらしい。

表5 「～くさい」派生の仕方の比較

	派生の仕方
従来	名詞 動詞 + くさい → イ形容詞 い形容詞
新しい用法	名詞 な形容詞 + くさい → イ形容詞 動詞 (現在形・過去形)

4. 1. 6. 4 「い形容詞」と「な形容詞」の派生形式のまとめ

以上のように、「い形容詞」と「な形容詞」の派生形式をみると、どちらも同じように「い形容詞」または「な形容詞」(またはその語幹)に付加することによって派生させているようである。ということは、「い形容詞」も「な形容詞」も、派生形式が同じということになる。

ここでみた派生形式の場合、付加する接尾語によって、新しく造られる語が「い形容詞」になるか、「な形容詞」に

20 「動詞」とするか「名詞」とするか、という問題も考えられるが、ここでは「形容詞」+「派生形式」でできた語彙を取り上げ、その品詞については論じない。

21 「中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック」 2001年 白川博之 監修

22 な形容詞は「～げ」を加えると非文法的であるため、「退屈げ」「心配げ」なども非文法的である。人によってはその使用に差がある可能性がある。

23 「教師と学習者のための日本語文型辞典」 くろしお出版 グループ・ジャマシイ

なるか、「動詞」になるか、という事が決まっている。つまり、派生する前の語が「動詞」なのか「い形容詞」なのか、「な形容詞」なのかによって左右されるのではなく、付加する派生形式それ自体によって左右される、ということが言える。

#### 4. 1. 7 「すごい」の新用法

「すごい」はすでに定着し、「すごく」と活用すべきところでも「すごい」と固定して使用する傾向がある。テレビ番組で字幕には「すごく難しくて」と書いてあっても、実際には「すごい難しくて」と発話している、といったことが見られる。

すごい+動詞 ㊤すごいむかつく

形容詞 ㊤すごいおしゃれ すごいきれい

これは本来「形容詞」だが、ここでは副詞的に働いて、形態は接頭辞のようになっている。つまり、「超～」とおなじように使われている。

㊤ F 2<sup>24</sup>：あっ！知ってる！おいしいよね

F 3<sup>25</sup>：そうそうそう、あそこスゴイ好き！でね、なんかね…

この「すごい」は会話の中でも頻繁に使用されているようである。

#### 4. 2 意味的特徴

従来の形容詞の中でも、元々の意味<sup>26</sup>とは異なる意味で、使用されているものがある。コンテキストを含む具体的な例を挙げながら、その形容詞の持つ意味について分析していく。

##### 4. 2. 1 痛い

良い状態ではないことを表す。「だめだ」「やばい」「きちんとしていない」など、否定的な言葉と近い意味を持つ。「痛い」を使うことでダメージを示せるが、直接的な表現を避けている。

㊤ F 4<sup>27</sup>：そういえば来週、〇〇ちゃんの結婚式やろ？

F 5<sup>28</sup>：そうなんよー。今月ぎりぎりなのに…痛いわー。

F 4：結構大きいもんね、出費が…

ここでは、やりくりが大変な時に、大きな出費で「痛い」としている。財布や財政的にダメージがある、という意味で使われている。

㊤ F 6<sup>29</sup>：あいつ、痛いわ。

F 7<sup>30</sup>1：え？また何かやったん？

対象となる人物の性格などが、常識から外れている、またはとんでもない様子であることを示す。特に、マイナスの出来事について使われる。

##### 4. 2. 2 おいしい

「おいしい」は従来食べ物に使われる形容詞だったが、自分にとって何らかの利益がある、または得をするものについて使用する場合がある。

㊤ M 1<sup>31</sup>：もう、勘弁してくださいよー。

M 2<sup>32</sup>：A (人名)、おいしいなあ、その状況。

特にテレビでお笑い芸人がよく使っているが、これは「笑いがとれる」「ウケる可能性が高い」といった意味で使われている。だが、「うらやましい」とは異なるものであり、「おいしい」とされる人の「得をすること」に焦点がある。

㊤ F 8<sup>33</sup>：ちょっと聞いてやー。最悪ー。

F 9<sup>34</sup>：どうしたん？

F 8：また〇〇に面倒くさいこと押し付けられたー。

F 9：そうなん？

F 10<sup>35</sup>：うまいこと逃げんと。あの子、いつもおいしいとこだけ持っていくんやって。

この場合は、「自分にとって都合が良いこと」「自分にとって利益となること」を「おいしい」とする。物事の一番いい所だけを取る、という意味で使われている。

F 11<sup>36</sup>：うーん、別にそんなに忙しくないけど。

F 12<sup>37</sup>：そうなん？あー、じゃあ、明日とか暇？

F 11：えー、うん、まあね。なんで？

F 12：あのね、おいしいバイトがあるんだけど、どうか

24 【女・25・大学院生・福岡】

25 【女・24・会社員・京都】

26 ここでは「新しい」意味についてのみ述べる。従来の意味については記さない。

27 【女・27・教員・福岡】

28 【女・30・会社員・福岡】

29 【女・25・教員・滋賀】

30 【女・26・アルバイト・大阪】

31 【男・39・お笑い芸人・大阪】

32 【男・42・お笑い芸人・大阪】

33 【女・22・大学生・福岡】

34 【女・21・大学生・福井】

35 【女・22・大学生・大阪】

36 【女・27・会社員・福岡】

37 【女・28・大学院生・福岡】

な、と思って。

「あなたにとって良い話」という意味である。「おいしい」バイトとは、時給が良い、内容があまり大変ではない、楽なものをさす。「良い」ということを強調していると言える。

#### 4. 2. 3 普通に

前後の文脈から考えても、「普通に」そのものには意味を持たせていない<sup>38</sup>ようである。

㊦ (エレベーターで)

F13<sup>39</sup>: 普通に5階だ。降りなきゃ。

大学構内のエレベーターの中で学生がしていた会話である。「普通に5階だ。」の前までは、全く別の会話をしてきた。だが、突然「普通に」が出てきた。何をさして「普通に」なのか、さっぱり分からない。ここでは「あ、もう5階だ」といった文脈であるが、従来の「普通に」とは異なった意味で使用されていると考える。

㊦M3<sup>40</sup>: (ギターを弾いている)

F14<sup>41</sup>: ギター、普通に超うまいね。

M3 : そう? ありがとう。

自分のためにギターを弾いてくれた人に対して、演奏終了後に発したことば<sup>42</sup>である。「普通に」と「超」はレベルで見ると明らかに不整合なものにもかかわらず、一緒に使用されている。このように使われる「普通に」は「普通に」という固定した形で使用され、「普通だ」「普通の」といったものは使用されない。

この意味と用法は、特別な文脈というよりは、前のコンテキストと異なる話題・内容について話をする場合に用いられているようである。「何か」を表わしているものだと考えられるが、どのような意味で、どのような意図で使われているのか、もっと用例を集め、コンテキストを見る必要がある。

#### 4. 2. 4 素で

「素」というのが「本来の」「飾り気の無い元のままの」というのではなく、「本気で」「まじで」と同意義で使用されている。

㊦素でやばい。

それって、素で言ってる?

#### 4. 2. 5 びみょう

「ハッキリしない」というのが従来の意味であるが、ここでは「イマイチである」「あまり良くない、気に入らない」といった意味で使用されている。マイナスの意味が含まれている。

㊦F15<sup>43</sup>: ちょっとこれ食べてみて。

F16<sup>44</sup>: うわあ、この味付け、びみょう。

F15 : ね、〇〇の料理の旨いよね。

「あまり美味しくない」ということを明言せず、「びみょう」を用いている。

㊦F17<sup>45</sup>: 〇〇にあの話、した?

F18<sup>46</sup>: うーん、まだなんやけど…。びみょうやわ。

「あの人には話せない」「あの人に知らせるのはあまり気が進まない」といった表現である。表記も「びみょう」が多いようである。

#### 4. 2. 6 やばい

「やばい」は元々やくざなどが使用していた隠語で、悪い意味や、マイナスイメージで使用されてきたが、最近では「すばらしい」「良い」など、プラスのイメージで使われることも多くなってきた。

㊦これ、やばいっすよ。まじでうまいから<sup>47</sup>。

#### 4. 3 「〇〇ない?」の意味とその拡大

「〇〇ない」はある「もの」がそうではない、ということを示す。つまりこれは、ある「もの」やその性質を否定するものである、というのが従来の用法である。

しかし、若者を中心に使用されている方法、「半疑問文」で使用される場合の「〇〇ない?」は、従来の意味とは異なる意味で使用されているのである。

「ある『もの』がそうではない」のではなく、「ある『もの』が『そのもの』でしょう」という事や、「ある『もの』が持っている性質の通りである」、ということ聞き手に確認する用法が新たに造られ、使用されているようである。

38 現時点では、意味が無いと考えるが、この用例については更なる分析が必要であろう。今後の課題とする。

39 【女・20~23ぐらい・大学生・不明】

40 【男・26・バーテンダー・不明】

41 【女・21・専門学校生・大阪】

42 この用例も、前のコンテキストと関係が無い状況で使用されたものである。

43 【女・29・大学院生・福岡】

44 【女・26・公務員・福岡】

45 【女・27・大学院生・福岡】

46 【女・27・フリーター・大阪】

47 「口のききかた」より、木村拓哉が発言したとされる。

## 4.4.1 「○○ない」の従来の意味

「○○ない」に関する先行研究をまとめ、「○○ない」の従来の意味の提示する。

ない〔打消しの助動詞〕<sup>48</sup>

- ①「何度考えてもわからない」のように打消しの意味。
- ②「よかったら家へ来ない」「そろそろやめにしないか」のように、勧誘の気持ちをこめた質問の意味を表す。  
…してはどうか。

動詞「ある」について「あらない」とはならない。その場合、形容詞「無い」を用いる。

「面白くない」「おだやかでない」のように、形容詞・形容動詞、およびその活用型の助動詞につく「ない」は、形容詞の「無い」であって、区別される。

②で「か」などがつかず「ない」で終わるときは、上昇調のイントネーションを伴う。

## 4.4.2 「○○ない」の「新しい用法」

ここでは、「○○ない」の「新しい用法」について考察していく。

従来の用法では「動詞+ない」という形で「勧誘の気持ちをこめた質問」の意味を表したが、この用法が拡大されて「形容詞」にも使用できるようになった、つまり使用できる品詞の拡大が起こったようである。

さらに、この用法が「形容詞」に適用される際、「ない」の形を作るために、「い形容詞」の活用法を採用し、「な形容詞」の活用法は除外した、ということもあり得る。これは、それまで「な形容詞」だったものが「い形容詞」の活用によって活用・使用されていた、という背景があったと考えられる。

また、「新しい形容詞」では従来の「○○ない」の意味とは異なる意味を含ませていると考えられる。例をあげて見てみよう。

㊦ F19<sup>49</sup>：このままとか可愛くない？

F20<sup>50</sup>：あー、そうやんな。

従来の用法であれば、「よかったら家へ来ない」の場合、「か」などがつかず「ない」で終わるときは、上昇調のイントネーションを伴うのであるが、その意味は「勧誘」である。ここに挙げた例の場合は「勧誘」ではなく「同意を求める」ものである。Aは「私は可愛いと思うけど、あなたはどう？」「あなたもそう思う？」と相手の同意を求める働きを持たせている。これに対しBも「そうだね」と同

意している。

この「新しい用法」を使用した発話者(A)は「肯定」の返答を期待している。しかし、実際には反対されることもある。

㊦ F21<sup>51</sup>：こっちのが良くない？

F22<sup>52</sup>：そう？あっちのが良いんやない？

自分の意見を述べる時に「良いよね」と断定せず、尻上がりイントネーションで相手に聞くという所に、「同意を求める」「賛成して欲しい」という気持ちが現れているのではないだろうか。

## 4.4.3 形容詞の否定形「○○ない」の従来の用法と「新しい用法」比較

表6 「○○ない」の従来の用法と「新しい用法」の比較

	従来の用法	新しい用法
①品詞拡大	動詞+ない → 勧誘	形容詞+ない → 同意を求める
②イントネーション	勧誘の場合、上昇	同意を求める場合、上昇
③意味の変化	勧誘の気持ちをこめた質問	同意して欲しい

聞き手がもし、この「新しい用法」を知らなければ、同意を求められていると考えずに混乱し、ミスコミュニケーションが起こるだろう。

㊦ A：あれはかわいくくない？(尻上がりイントネーション)  
こっちのがかわいいやん。

B：「かわいくくない」って、かわいいん？かわいくないん？どっち？

A：「かわいくないと思うんだけど、どう？」っていう意味で聞いたんやけど。

B：そうなん？分からんやった。(笑)

イントネーションにより、「文面のみから判断される意味」とは異なる場合である。ここで「かわいくくない」という活用をし、更に「新しい用法」を使用したため、混乱したと考える。

㊦ 「かわいくない」⇔「かわいくない」(尻上がりイントネーション)  
「かわいくない」という言葉を聞いた時に、何通りかの意味が考えられる。

これまで使われ、認知されてきた意味で使用する場合には、従来どおりのイントネーションにより「かわいいとは

48 「現代国語例解辞典」 小学館

49 【女・24・教員・滋賀】

50 【女・24・会社員・広島】

51 【女・26・教員・福岡】

52 【女・29・教員・福岡】

思わない」という意味でとることができる。

しかし、尻上りイントネーションになった場合は、従来のものとは少し異なり、「かわいいよね?」と自分の感想を述べ、更に相手に対し同意を求めたり確認したりする意味を含んでいる、とも考えられるのである。これは「新しい形容詞」の一つであろう。

表7 「かわいい」否定のパターンと意味

「かわいい」否定のパターン	意味
かわいくない	「かわいい」否定
かわいくない?(尻上がり)	「かわいい」発話者肯定・同意して欲しい
かわいくなく(は)ない	「かわいくない」ということはない →かわいくないこともない
かわいくなくない?(尻上がり)	「かわいい」否定 →かわいくないんじゃないか

このように、同じ言葉を聞いた場合でも、受け取り手によって、その内容の解釈にずれが生じる。その解釈のずれは、イントネーションに起因するものもあれば、その活用の仕方によって、異なる意味ととられる場合もある。

## 5. 「新しい形容詞」とは

「単語の途中を省略したもの。数は少なく、形容詞に多い。」と先行研究にもあるように、中略をしたものが定着し、今後、辞書の見出し語として認められるのではないだろうか。

「また日本語には形容詞が少ないため、若者は新たに造語して不足を補い、かつそれを使うことを楽しんでいた。<sup>53)</sup>ということからも、外来語からの新しい語を創造する場合には主に「な形容詞」を造ってきた、ということが言えるであろう。しかし、新しい形容詞の用法としては、「な形容詞」だけではなく、「い形容詞」も多く造られている、つまり用法が拡大していると言える。

3.1で行った仮定義と分析結果をあわせて見てみよう。

「新しい形容詞」の仮定義

「従来の形容詞」とは異なり、①既存のルールに従わない活用を行うものや、従来と同じ活用を行ったにもかかわらず、その②意味するものが異なるもの、③「形容詞」の造語法が異なるものを「新しい形容詞」とする。

①既存のルールに従わない活用を行うものは、4.1.2で見た「な形容詞」の「い形容詞化」が挙げられるが、現

段階ではごく一部の「な形容詞」に起こっている現象である。

②意味するものが異なるものは、4.3の意味的特徴で挙げた語彙で分かる通り、従来のものとは異なる意味を持たせ、意味範囲を拡大していることが分かった。

③「形容詞」の造語法が異なるものを挙げたが、これは外来語の造語法が特に新しい方法を取っていると言える。

「形態的特徴」・「統語的特徴」・「意味的特徴」について具体例を挙げ、言語学的分析を行った上で、以下のように「新しい形容詞」をまとめることができる。

「新しい形容詞」とは

造語

①省略により生まれた語彙

②外来語を派生させた語彙

⇒従来の用法を使用・応用して語彙を拡大

③語幹として使用できる語彙・品詞の許容範囲を拡大

活用

①「な形容詞」の「い形容詞」化(一部)

「い形容詞」の「な形容詞」化

②派生形式の変化

意味

従来の形容詞の意味と異なる意味を持つ

以上のような特徴を持つものを「新しい形容詞」とする。

## 6. 終わりに

本論文では、「新しい形容詞」を言語学的に分析した。これまでには無かった「語彙」や新たに加えられた「意味」など、発見があった。

「新しい形容詞」はこれからも増え続け、様々な変遷を経て、50年後、100年後は今と異なった体系を持っているかもしれない。言語が生きている限り、変化が続くように、日本語が生きている限り、「形容詞」も変化し続けるだろう。2007年の時点で起こっている変化はここに記すことができたと考える。今後も引き続き見守って行きたい。

## 参考文献

- 秋月高太郎(2004).「ありえない日本語」.ちくま新書  
飯野公一ほか(2003).「新世代の言語学」くろしお出版  
庵功雄ほか(2002).「中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック」.スリーエーネットワーク  
井上史雄(1998).「日本語ウォッチング」.岩波新書  
井上史雄他(2002).「辞典<新しい日本語>」.東洋書林  
大塚明子(2003).「新語死語流行語」.集英社新書

53 「現代若者ことば考」米川明彦

- 梶原しげる(2003).「口のきき方」. 新潮社  
北原保雄 監修(2003).「日本語使い方考え方辞典」岩波書店  
グループジャマシイ(1998).「教師と学習者のための日本語文型辞  
典」. くろしお出版  
真田信治・陣内正敬ほか(1992).「社会言語学」. 桜楓社  
小学館辞典編集部・林巨樹(2000)「現代国語例解辞典」. 小学館  
陣内正敬(1989).「九州方言の史的研究」. 桜楓社  
飛田良文他(1991).「現代形容詞用法辞典」. 東京堂出版  
堀尾佳以(2000).「ほかし言葉について」. 修士論文  
米川明彦(1998).「若者語を科学する」. 明治書院  
米川明彦(1998).「現代若者ことば考」. 丸善ライブラリー

## New adjectives in Japanese

Horio Kei

This paper aims at studying morphological and semantic characteristics of new adjectives used by young Japanese people. There are several ways to create new adjectives : shortening, extended ways of derivation, and changes of meaning. For example, *kimoi*, which means “dirty” or “oily”, is a shortened form of *kimochi-warui*. *Hadekunai*, which means “not vivid”, is derived from a deviant use of a negative suffix *nai*. The adjective *oishii*, which ordinarily means “delicious”, has given rise to the meaning “good for you”. Some of new adjectives can become a permanent part of the Japanese language, if they happen to fulfill the feeling of the people.